

島根大学研究見本市

研究テーマ名 学校における組織行動に関する研究

(英訳) Organizational Behavior on School

研究者紹介

熊丸 真太郎
教育学研究科・准教授

Shintaro KUMAMARU
Associate Professor, Faculty of Education

概要

近年、学校経営に関して、「組織として動く」ことの重要性が認識されるようになってきました。組織として動くためには、学校の教職員や子どもが自分たちを学校の一員として認識することが欠かせません。しかし、単にある学校に赴任したり、入学したりすれば、自動的に学校の一員として動こうと動機づけられるわけではありません。

そこで、教職員や子どもたちが、自分たちを学校の一員として認識するにはどのようなメカニズムが働くのかを明らかにする必要があります。私は、そのメカニズムにおいて、目に見えない文化的な側面がどのような役割を果たしているかに関心を寄せて研究を進めています。

特色 研究成果 今後の展望

研究上の特色は、多様性を保障した組織の統合を目指していることにあります。組織をまとめていこうとすると、ある特定の価値観や認識を学校の教職員で共有しようとする方法があります。しかし、現実的にそのことが可能なのか、また特定の価値観を共有することは教職員を画一化させることにつながるのではないかと懸念もあります。そうすると、いかに教職員の多様性を保障しながらも、学校の一員として動こうとするモチベーションを教職員が持てる組織をつくっていくかを考える必要があります。私の研究では、その点に関して、組織論における「組織アイデンティティ論」という理論を用いた、組織の統合のあり方を考えていることに特色があります。

今後は、理論的な組織の統合のあり方の仮説を、学校での調査等を踏まえて実証していくことを考えています。

キーワード

学校経営、組織文化

リンク